



河内長野市立長野中学校
学校だより 5月号 令和8年4月30日

【教育目標】

つながりを大切に 心豊かに学び合い たくましく生き抜く力の育成

<http://www.kawachinagano.ed.jp/nagachu/>



新学期がスタートし、1か月が過ぎました

春の爽やかな青空の下、運動場から楽しげで元気よい行進練習の掛け声が、職員室まで聞こえてくる日が続いています。現在、体育の授業では学習単元「集団行動」（日本体育大学の行進を思い浮かべていただくとイメージしやすいと思います）に取り組んでおり、新年度が始まるこの時期に、協調性や一体感、孤独感の解消を目的として実施しています。

昭和育ちの私は「行進の練習＝厳しい訓練」と考えてしまうのですが、実際はそのような空気感ではなく、リーダーによる「右向け前へ進め!」、それに呼応する「1、2」などの元気な掛け声だけでなく、大成功した時の歓声や、失敗した時の笑い声が運動場に響いています。

真剣な雰囲気と笑顔が交錯する中で、学校でしか学べない経験を積み重ねている子どもたちの姿を、職員室から微笑ましく眺めています。

さて、3週間前の始業式で、私は子どもたちに、人の成長を木の成長に例えた話をしました。中学生の3年間は、木で考えると幹の部分育てる時期だと考えています。一言で幹といっても、樺のように強くてたくましい幹や、柳のようにしなやかで簡単に折れない幹、松のように左右に曲がりながらも上をめざして伸びる幹…、それぞれに特徴があります。入学までの12年間で、周囲の人々に支えられて根っこ部分をしっかりと育ててきた上に、自分らしい幹を築き上げる3年間で、より充実させるために①いろいろなことにチャレンジしよう②挨拶の習慣を確立させようという2点の話をしました。

先日、3年生の学年集会の様子を見ていたら、各クラスの学級委員就任の挨拶で「初めて学級委員になりました。楽しいクラスにしたいです」と話す生徒が複数名いました。初めてのことに挑戦する生徒が何人もいることは、とっても素晴らしいことだなと感心しながら聞いていました。挑戦には必ず新しい発見があり、そこからの学びもたくさんあります。様々な経験を自分らしさの成長させる糧にしてほしいと思います。

また、この3週間「校長先生、こんにちは」と声をかけてくれる生徒や「おはよう」「さようなら」に声を返してくれる生徒がたくさんいます。改めて、生徒たちの人懐っこさを感じています。4月号でも少し記載しましたが、挨拶はコミュニケーションのきっかけと考えています。他者と関わって繋がりを創ることは、自分らしさを上げる大事な要素と考えています。繰り返しになりますが、引き続き、挨拶を大切にする空気を醸成していきたいと考えています。

校長 浦尾 和久

★新入生を迎える準備を通して…

入学式を控えた4月3日、入学式の準備をするために2・3年生が登校しました。体育館のシート敷きや椅子並べ、教室の飾りつけ、下足室・玄関周りを清掃することで、新入生が新たな気持ちでスタートが切れるよう、一生懸命に準備をすすめてくれました。

学校では、入学や卒業をはじめ、始業式や終業式などの節目を振り返りの機会と捉え、都度、新たな目標に向かえるよう、教育活動に取り組んでいます。

特に、入学・卒業に関しては、お祝いの気持ちで迎える・送り出すことの大切さを理解して欲しいという願いを持ちつつ、その一方で、自分が当事者になった時にも、そのようにしてもらってきたことを再確認し、その行動を、各自の将来につなげて欲しいと考えています。



新学期が始まった翌週、玄関前では活気ある朝を迎えました。

どのクラブも、一人でも多くの新入部員を集めようと、2・3年生のたくさんのクラブ員が集まりました。それぞれにポスターやチラシを手に持ち、中にはユニホームや道着・袴を着たり、ラケットを持ったりと、それぞれのクラブらしさをアピールしながら楽しそうに声を張り上げ部員募集を訴えていました。



★ラパン・ブランさん、今年度もありがとうございます

年度も、昼食のパン販売を地元のラパン・ブランさんをお願いしています。朝、学校からの注文を受けてから焼きはじめ、お昼には焼き立てのパンを届けてくれます。写真は、月に1度のお昼にパンを販売する日の様子です。この日も、焼き立てのパンが並ぶので、大盛況となります。

ただ…、3学期からは全員給食が始まるので、寂しいことにパンの販売は2学期末までとなりますので、ご承知おきください。

